

# 和合

No.87  
2012.6.20

題字：三浦修次



## 主な掲載記事

- 和合ってどんなところ……………2
- ふるさとを想う……………2
- 年中行事（行事食）……………3
- 和合の里のお地蔵様……………3
- 老いないために……………4
- 和合の交番……………4
- 亀治からのメッセージ……………5
- せんせいあのね！……………6
- 私の健康・健康レシピ……………7
- 地域インフォメーション……………8

**応援賞は  
いただき!!**

# 和合ってどんどこ



酒田市松山小学校 遠田ひろ子 先生

思わぬ強風に出迎えられた八年前。庄内平野の風という風を集め、あの風車を回す強風である。そんなとてつもない風に立ち向かい、日々鍛えられながらたくましく育ってきた四小の子どもたち。

春の陸上練習と言えど風に向かって走るのが当たり前。息もつけぬほど苦しくても、子どもたちは前へ前へと走り続ける。

冬の地吹雪にだって負けはしない。吹き飛ばされそうになる一年生を上級生が手を握り、必死で歩く田んぼ道。先輩の後ろ姿を見て、「いつかは自分が守る。」と受け継いできた。そのような風土が、阿部亀治や内藤秀因など、多くの偉大な先人を生み出し、天下に名高い亀ノ尾を育

ててきたのだと思う。

しかし、この地に根付いているのはたくましさだけではない。学校には絶えることなく地域の方々からたくさんの花が届き、亀ノ尾を栽培したいと願えば快く指南して下さる方がいる。子どもたちのためにピオトープ（なかよし小川）をつくり、体育館新築となれば、より良きものをと知恵を出し合う。たくましさに支えられた大きな優しさであり、懐の深さである。

私は、和合の「運動会」と「和合まつり」が大好きだ。和合の力そのものを感じるからだ。公民館と幼稚園と小学校の三者が一体となった姿は、他学区に類を見ないと思う。今年も、こっそりどこかに紛れ込んでいたら、あしからず。

## ふるさとを想う

### 和合の里のおまつり

4 / 1	南野新田、主殿新田
4 / 15	吉方、中野
4 / 17	返吉、福島、新田目
4 / 18	西袋
4 / 25	連枝
4 / 29	赤湊新田
5 / 3	小出新田
6 / 7	本小野方
6 / 10	連枝(土場)
8 / 13	西袋獅子踊り
8 / 14	連枝、前田野目、福島
8 / 15	古関獅子舞、南興屋、四ヶ村獅子
8 / 16	廻館供奴、堤新田、大真木、京島
8 / 17	南野神楽
8 / 18	沢新田

## ～鎮守の森から～

今も昔も、日常生活にちょっとだけ違った雰囲気でも過ごす事のできる日がある。はしゃいだり、おもしろがったり、古いものをただ伝えていけばよいというものでもなく……。日本の四季にあわせて中身もいろいろと変化してきた“おまつり”には、不思議な力がある。それをやる人も、見る人もにぎやかで楽しい気分にする。

「おまつりはこころのふるさと」といわれているように、みんなで大切にしていかなければならない。



～おまつり～ 江馬成也 著 参考

# まぼの年中行事

## ●おしぎんじ(五月中旬)・六月中旬

田植えが出来たところで三日間のさなぶり休みがあるので、その休みの中で若い嫁や婿が生家に休養に帰るのをさつきよといった。これは、田植え後の慰労もあったが、生家に身内の者が集まり、田植えに田の神として訪れてきた先祖様と一緒に食事をして稲の豊作と一族の健康を祈り合うことでもあった。

## ●氷餅(七月)

陰暦六月一日、宮中で臣下に氷室の氷を賜った古例から、民間でもこの日、氷の代わりに氷餅を祝い食した。また、大正月・小正月の餅を保存しておき、この日に食べた。

寒い地方で行われる行事で、庶民にとっては正月に大量に餅を搗くため、一種の浪費を伴う行事であった。夏に農作業で消耗した体を補強する意味もあった。

余目町の民俗年中行事より抜粋

どじょうは産卵期の6~7月が一番美味しく夏バテ防止、カルシウムも多いといわれています。

### ★どじょう汁★

【材料】どじょう、なす、ねぎ、なつな、豆腐、焼き麩、卵、ごぼう等しょうゆ仕立て。だしの素、日本酒

【準備しておくこと】どじょうをボールに入れて泥をよくはかせ、3、4日清水にはなす。この間毎日水を取り替える。

#### 【作り方】

- ①鍋にどじょうを入れ、日本酒をしてふたをする。  
どじょうが動かなくなったら、だし汁を入れてから火をかける。沸騰したら、あくをすくい15分間煮る。
- ②煮汁にしょうゆを入れ、15分位煮る。その間に材料をそれぞれきっておくが、まだ鍋には入れない。
- (ごぼうはささがき、なすはどじょうと同じ位の大きさに切る)
- ③汁の味を整えて、なすと豆腐、焼き麩、長ねぎをそれぞれ鍋に入れる。
- ④豆腐が浮いてきたら完成。なつなをのせる。

### ★柳山鍋★

【①~④のあと、器に卵を割り入れ、ほぐし卵を回しかけてふたをし、弱火で30秒位煮て火を止める。卵が半熟になったら、完成。】

## 和合の里のお地藏様

前田野目編

〈語り手〉日下部幹夫さん

明和六年田福山大明境内に地藏菩薩念佛塔が建立された。安産地藏として祀られたが、明治八年、部落中央広場の現在地に奉遷し、御堂も建設された。

毎年、八月十一日には地藏様祭りとして、子どもすもう大会が行われている。

昔は、上級生が筆で描いたポスターを作り、狩川方面への貼り出しのお願いに行っていたと言われている。また、勝者だけが手にすることのできる「※ぼんでん」を作るための竹を準備するため、リヤカーを引き、松山まで渡し船に乗って行った。庄内大橋もなかった頃で、その渡し船のコースは今でいう県道に位置するところで無料だったという。

子どもたちを見守る地藏様として、日頃から手を合わせる人、そしてご飯を供えている方もいるという。

〈聞き手〉富樫

※ぼんでん：もともとは「ほで」（すぐれているという意味）がなまってできた言葉



イラスト：工藤昭子

老いないために!!

## 口が渇く、皮膚が乾燥する…… 脱水に注意しましょう

脱水は、暑い夏だけでなく、年中おきる可能性があります。下痢や発熱などでも、多くの水分が失われ、乳幼児や高齢者では生命にかかわる場合もあります。

特に高齢者は、夜間のトイレを気にして水分を取らずに我慢したり、口の渇きを感じにくくなって、水分を取らずに脱水になってしまう方もいます。

こんな症状があったら  
脱水の疑いがあります

- ① 口や舌が乾燥する
- ② 皮膚が乾燥して弾力が低下する
- ③ 食欲低下、脱力、立ちくらみ など



「なんとなく元気がない」「ぐったりしていて反応が鈍い」などの症状が、実は脱水が原因ということもありますので高齢者や乳幼児のいる家族や介護者は、食事と水分摂取量を観察してあげることが大切です。

高齢者総合相談窓口（介護相談・心配事などお気軽にご相談ください）

庄内町地域包括支援センター  
（介護センターほほえみ内）

☎ 45-1030

庄内町地域包括 立川サブセンター  
（庄内町役場立川庁舎内）

☎ 51-2505

## 和合の交番



庄内町の皆さんへ  
自転車安全利用五則を守りましょう

- ① 自転車は、車道が原則、歩道は例外
- ② 車道では左側を通行
- ③ 歩道では歩行者優先で、車道寄りを徐行
- ④ 安全ルールを守る
  - 飲酒運転・二人乗り・並列は禁止
  - 夜間はライト点灯
  - 信号を守る
  - 一時停止、左右の安全確認をする
- ⑤ 子どもはヘルメットを着用する



今年の3月1日からは…

- 携帯電話等の通話や操作。
- 周囲の音が聞こえない状態でのヘッドホン・イヤホンの使用。
- 全ての道路での傘差し運転。  
**が禁止となりました!**

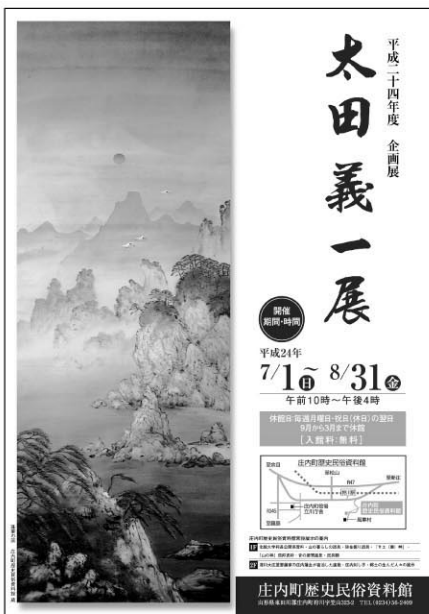
# 亀治からのメッセージ

## 亀ノ尾の里資料館

### ●企画展「庄内町の絵馬」開催中

現在亀ノ尾の里資料館では、今年度最初の企画展「庄内町の絵馬」を開催しています。昨年度「庄内町の文化財展Ⅳ」で、庄内町指定文化財の絵馬を中心に地域の神社に奉納されている絵馬を公開したところ大変好評だったことから、今年は新たに「庄内町の絵馬」として皆さんに貴重な「絵馬」を紹介しています。

和合の里からは、西袋皇大神社に奉納されている「獅子宮入図」を紹介しています。この絵馬は祭典を寿ぎ、五穀豊穡、悪魔退散を祈願するため宮入りする模様を描いており、明治41年の勸進興行を記念して奉納されたものです。その他、源義経と弁慶が一夜を明かしたと伝えられる御諸皇子神社に奉納されている「義経と弁慶」を描いた絵馬と社宝6点など、見どころ満載です。この機会にぜひご来館ください。



## 歴史民俗資料館

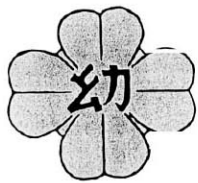
### ●企画展「太田義一展」

12月1日から休館している歴史民俗資料館。いよいよ7月1日(日)から8月31日(金)まで開館します。今年度の企画展は庄内町出身の画家太田義一の作品を紹介する「太田義一展」です。資料館が所蔵する作品を中心に庄内町在住の所蔵者にご協力いただきたくさんの作品を公開いたします。只今、開館に向けて準備中です。もう少しの間お待ちください。

### 亀治の目

今年は不安定な気候が続いている。去年の地震に始まり、各地で竜巻が発生したり、雹が降ったり、庄内では4月の爆弾低気圧。春、種まきの準備に大変な被害をもたらした。これが、現代のように科学技術が発達していない数百年前におこっていたら…。人々は「この世の終わり」と、神仏に手を合わせひたすら祈ったことだろう。それでも人類は知恵をしぼり、今を築いてきた。

歴史は繰り返すという。私たちも今の生活を見つめなおす時期にきているのかもしれない。



## よつぱっこ通信 第四幼稚園

# せんせい、あめね!

## ～親子遠足 羽黒山の石段2,446段登ったよ!～

幼稚園では、2年間の園生活の中で、1度は羽黒山の石段のぼりに挑戦している。今年は、5月24日(木)、親子遠足で2,446段、約2キロの道のりに挑戦してきた。疲れも知らずどんどん先に登る子、お家の人としっかり手をつなぎ、1段1段踏みしめながら登る子、お母さんのお尻を押してあげる子、どこからか聞こえてくる鳥の声、蛙の声、水の音に耳を傾けている子。園では見られない姿が見えたり、自然の中で汗を流しながら親子の会話を楽しむ姿なども見えた。二の坂茶屋では、こんにゃくを食べひと休み。

青い空、緑の風のさわやかなお天気の中、全員自力で山頂にたどり着き、登りきった証に全員が認定証をもらった。

### バスの中での「あ・の・ね」

クイズ 羽黒山には、坂がいっぱい。二の坂はとても急であるが、急な坂ということで、別名が付いている。次のうちどれ?

1. 油こぼしの坂
2. 水こぼしの坂

すると、どこからか「酒こぼしでねえ?」

「えっ??今の誰??」「…」

(正解は、1. 油こぼしの坂)

その昔、源義経たちが鎌倉幕府から追われ、奥州藤原氏をたよりに岩手県平泉に逃げる途中、義経のかわりに武蔵坊弁慶が羽黒山の出羽神社にお参りした。その時、奉納するために背負っていた油を、この急な参道を登る際にこぼしてしまったと伝えられている。弁慶ほどの怪力の持ち主も、この坂道は、きつかったのでしょうか。

5/23(水)は、南野新田までたんぼ道を通って地区内を散策してきた。ぞうや馬の乗り物発見!

6/28(木)は、園から片道約2キロの連枝のはらぺこファームまで、お弁当を持って、ボランティアのお父さん、お母さんと一緒に往復徒歩コースに挑戦する。南野、赤渕新田を通して出かける。

見かけた時は、是非応援の声かけをお願いします。(雨天時は、翌日6/29金)

4月末から大規模改造工事が始まり、少しずつできてきている。屋根は一新。以前同様の、空の色をイメージした『青』色に張り替えられ、ピカピカにできあがってきた。

## ～今日は、何の本かなあ??～

### 第四小学校

四小では読み聞かせボランティア「福本袋」<sup>ふくぶくろー</sup>が大活躍中!!「本を好きになって欲しい!内容や言葉から想像する力や聞く力を育てて欲しい。」とメンバー9人で、木曜日(隔週・月2回程度)の朝に行っている。読み聞かせがはじまると食い入るような眼差しで、教室全体が絵本の世界へと引き込まれているのが分かった。終わった後も、絵本の内容やテーマをきちんと捉え、作者などをメモしている子どももいた。学校の図書室利用も増えて来ているという。

子どもたちだけではなく、読んでいるメンバーも楽しい時間を過ごすことができ、奥の深さに気づき、やみつきになってしまうと話していた。



# 私の健康



三浦修次さん（福島）

年を重ねる程に、体の調子もそれなりに変化してくるのは当然であるが、健康だけは失いたくないと思う願望は誰もおなじである。

健康保持の一つとして、孤立せず、仲間を通して日々楽しく過ごす事が唯一の健康法と思い、菊花展を観賞した折に会場いっぱいの大輪の花に魅せられ、とある知人の勧めもあって始めたのが「菊づくり」である。

おなじ失負をくり返しながらも、どっぷりとはまり込んで十年余りとなる。10月下旬から11月にかけての大輪の開花にむけ、期待をふくらませながら、現在は苗育てに夢中になっているところである。

栽培期間中は朝の目覚めも早く、太陽の眩しさと澄みきった空気を全身にあびるとき、身も心もすっきりとした満足感と健康のありがたさを感じるひと時でもある。また、仲間との交流を通し、菊づくりのコツを教わったりしながら、栽培技術の情報交換で時間の過ぎるのを忘れ談笑する事もしばしばある。こんな時間を過ごせるのも、めぐまれた仲間のおかげと感謝しているのである。

美的情操の高揚と、よりよい仲間づくりをこめた作品が一堂に会する菊花展が一年のフィナーレとなるが、咲きほこる大輪の花はどれも世界に一つだけの花であり、みんな美しい。一年の苦勞も忘れ、仲間と共に心和むひと時である。

菊づくりはむずかしいと言われるが、菊づくりこそ、元気・和み・喜びを与えてくれる唯一の妙薬ではないかと思うこの頃である。

## 健康レシピ

### きゅうりとなすのサラダ



#### ◎材料（2人分）

きゅうり ……………100g(1本)  
 なす……………70g(中1本)  
 みょうが……………50g(3個)  
 塩……………小さじ1/2  
 梅干し(減塩)……………10g(1個)  
 ごま油……………小さじ1

#### ◎作り方

- ① 梅干しは種を取り除き、袋に入れ、たたいてペースト状にし、ごま油を加えておく。
- ② きゅうりは小口切り、なすとみょうがは縦半分に切ってうす切りにする。
- ③ きゅうり、なす、みょうがに塩をまぶしてしばらくおいて水気がでてきたら水洗いして絞る。
- ④ ①のナイロン袋に③を入れて、よく混ぜて器に盛る。



切った野菜をめんつゆに入れて、唐辛子をふり、せん切りにした大葉をちらしてもOK!

#### 栄養価（1人分）

エネルギー41kカロリー 脂質2.1g ビタミンC 9mg  
 食物繊維2.0g 塩分1.2g

## 地域インフォメーション!!

### 古関、二連覇!! 「幼児からお年寄りまで」



6月3日(日)、第7回庄内町町民運動会和合大会が行われた。連日、太陽が照りつけていた四小グラウンドにはたくさんの声援と各班のチームカラーで彩られた。

競技前半は水色組の第2班(前田野目・大真木・福島・返吉)がトップをキープしていたが、徐々に桃色組の第5班(古関)が得点を上げて行った。しかし、綱引き決勝や班対抗リレーでは男女とも1位となった緑組が追い上げを見せたが、わずか2点差で古関チームが逃げ切った。中学生の活躍も目立つところだったが、どの競技でも

平均して得点を重ねていったことが優勝へと導いた。

6年生が中心となり、どのチームも鮮やかな衣装や応援グッズを手に、子どもたちの大きな声が響き渡っていた応援合戦は、高学年が競技をしている時にも、低学年が積極的に旗を振ったり休みなく応援していた姿は感動を呼び、紫組の第4班(京島・新田目・本小野方・吉方)が最優秀賞に輝いた。

小学生児童の徒競走では、3年生の阿毛尊琉さん、5年生の瀬川美桜さんが大会新記録を出し、表彰を受けた。和合の里に多くの絆が生まれ、地域全体が一つになった一日だった。

運動会での、ひとコマ、スナップ♪を展示しています。ぜひどうぞ!!

## きれいだの～♪ やっぱりいいの～

5月26日(土)、少年教室 Jr.カレッジWAGO!! の子どもたちが植えた、中庭の花。黄色やオレンジ、紫、赤……。

花苗を手に子どもたちは分担し、丁寧に植えていった。水を掛けたり苗ポットを片付けたりと、手際よく作業して行った。「きれいだの～花があるといいね!!」と公民館を訪れた人の目を楽しませている。

春の訪れとともに農作業が進み、田んぼの様子も気になるところだが、あちらこちらの花壇に植えられた花を見ていると、優しい気持ちになれる。

公民館に一通の手紙が届いた。前号「ふるさとを想う」に寄稿いただいた、加瀬良子さんから「和合」を読んだの感想だった。「地域全体の世代間交流が自然な形で実施されている安心感が伝わってきました。」とあった。町民運動会和合大会も地域が一つになり、人と人がつながっているの心から思った。大人も子どもも助け合い、一つの目標に向かう姿は、たくましく優しささえも感じ、月山のなだらかな美しさを思い出した。

### 編集後記

